

令和 8 年度 広島県立総合技術研究所
利用者アンケート調査（令和 7 年度利用分）について

1 調査概要

（1）目的

総合技術研究所（以下「総研」という。）をご利用いただいた方の満足度や経営への貢献額をお伺いし、総研の自己評価に役立てるとともに、ご要望やご意見を基に、今後の支援サービスの内容充実や質的向上を図る。

（2）調査対象

令和 7 年度に総研の各支援メニューを利用された方（事業者、個人等）。

支援メニュー：設備利用（センターの保有機器・設備）、依頼試験、技術的課題解決支援事業（ギカジ）、共同研究、受託研究、人材育成

（3）調査方法

対象者（703 者）へ調査用紙を郵送し、回答は広島県電子申請システム又は FAX により収集した。

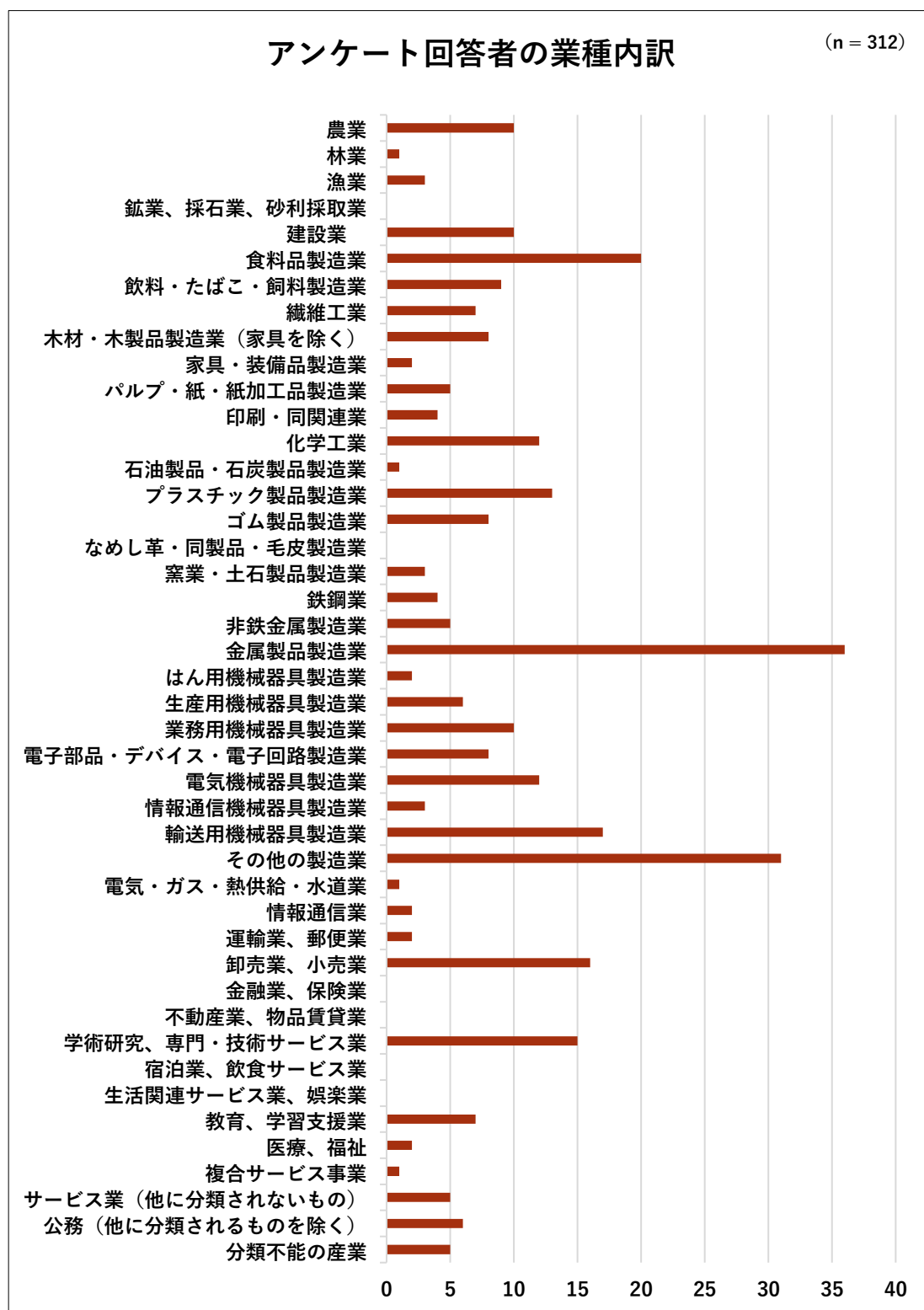
（4）回答状況

回答者数：313 者（回答率 44.5%）

2 調査結果概要

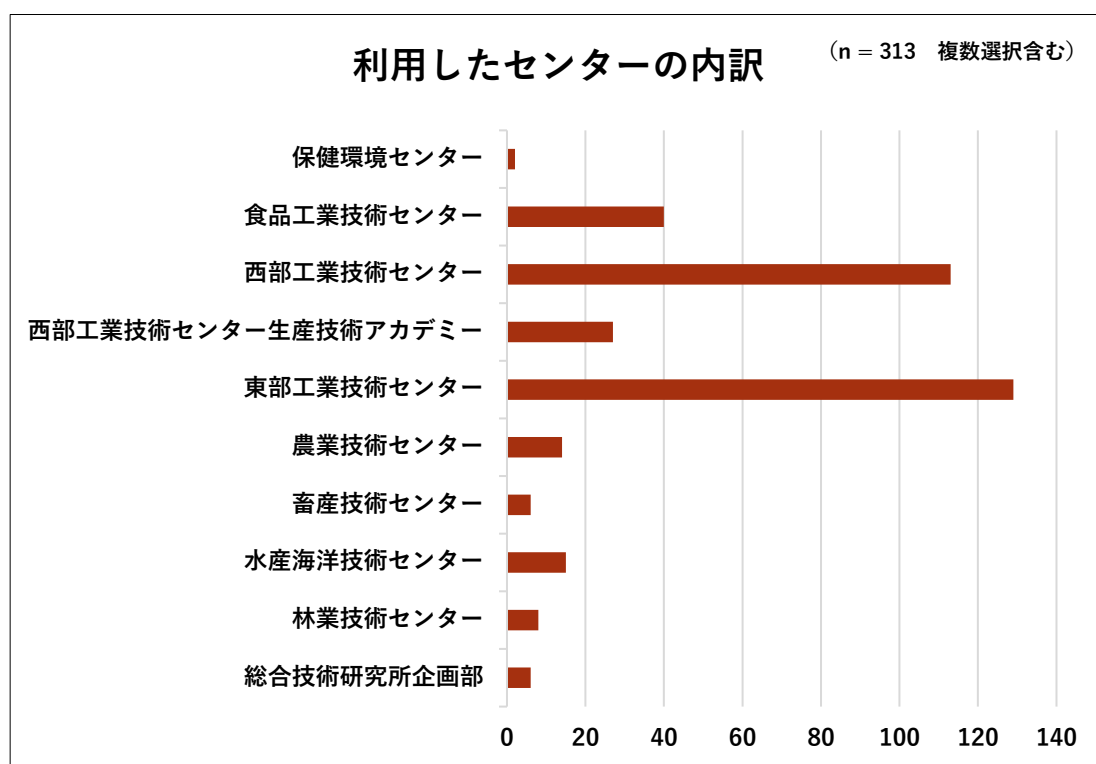
(1) 業種内訳

製造業、卸売業・小売業、学術研究・専門・技術サービス業等からの回答が多い。
過去の結果から大きな変化はない。



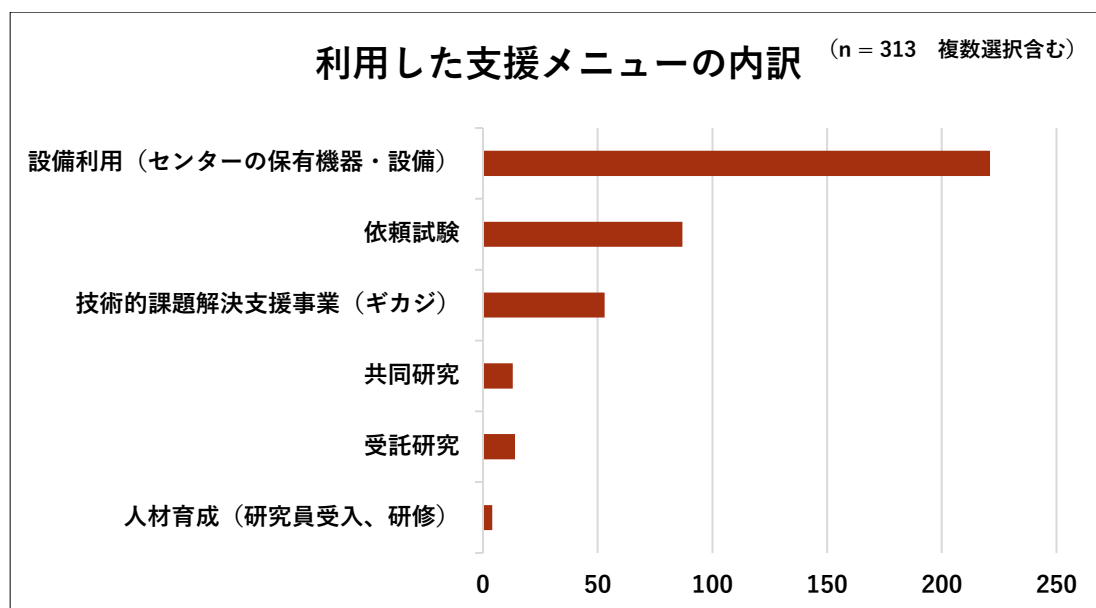
(2) 利用したセンター

回答全体数の約 86%が工業系センター（食品工業技術センター、西部工業技術センター、東部工業技術センター）である。



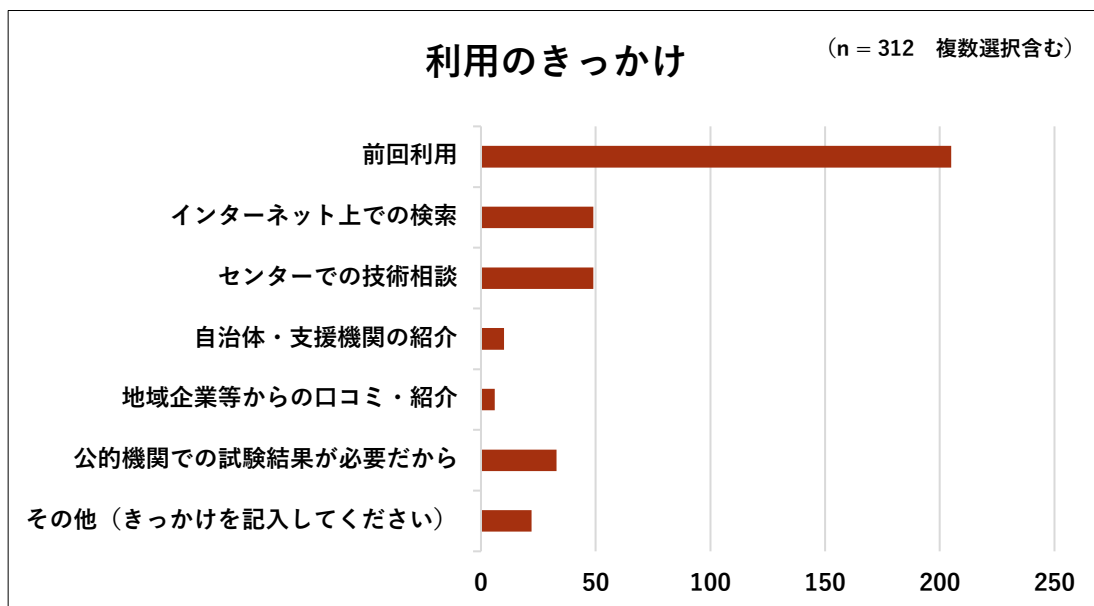
(3) 利用した支援メニュー

「設備利用」、「依頼試験」の回答が多い。



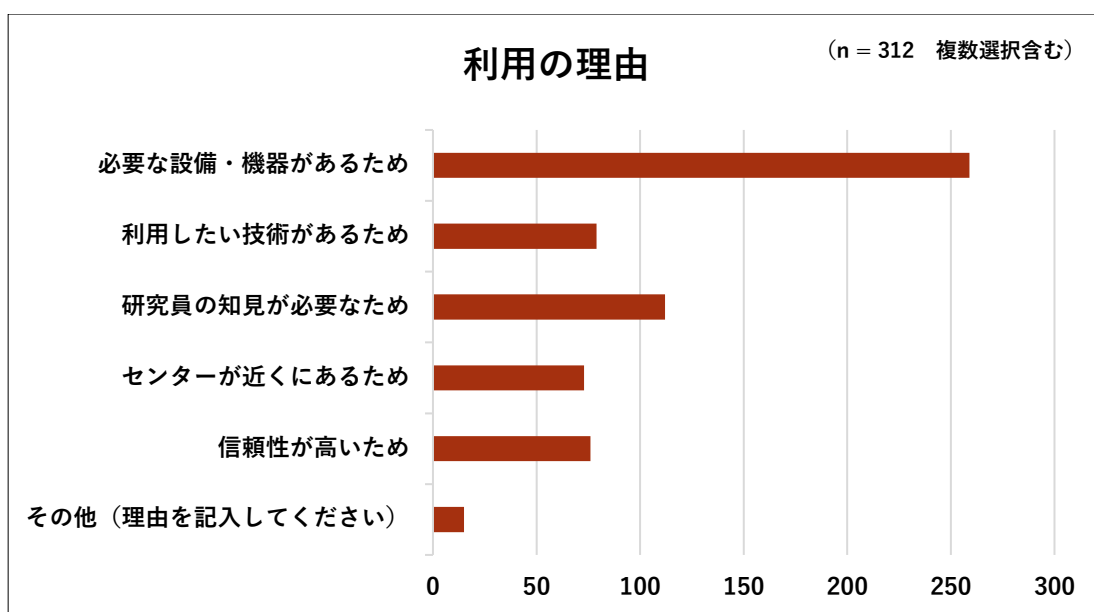
(4) 利用のきっかけ

「前回利用」したことによるリピートのほか、「センターでの技術相談」、「インターネット上での検索」がきっかけとなっている。



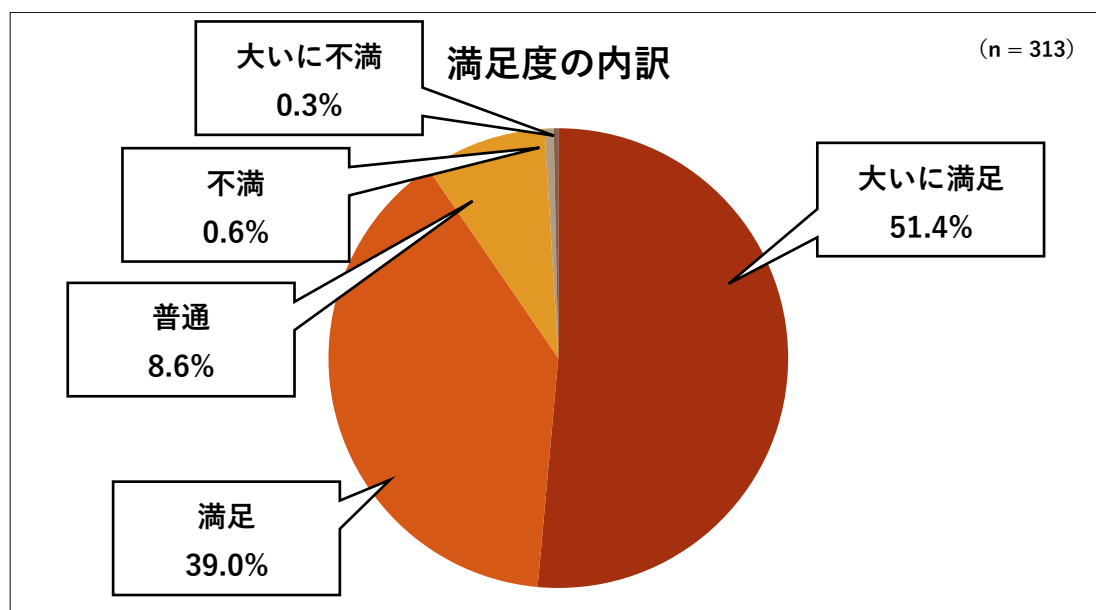
(5) 利用の理由

「設備・機器」、「研究員の知見」があることが主な利用の理由となっている。



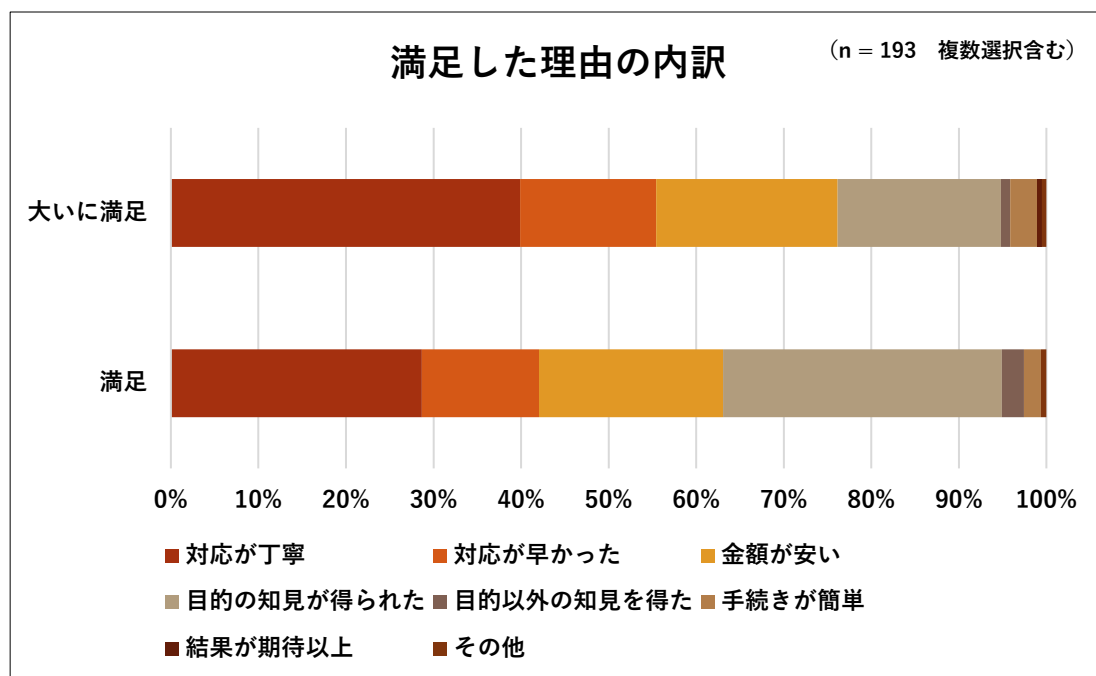
(6) 満足度

全体回答数の約 90%が「大いに満足」又は「満足」と回答している。



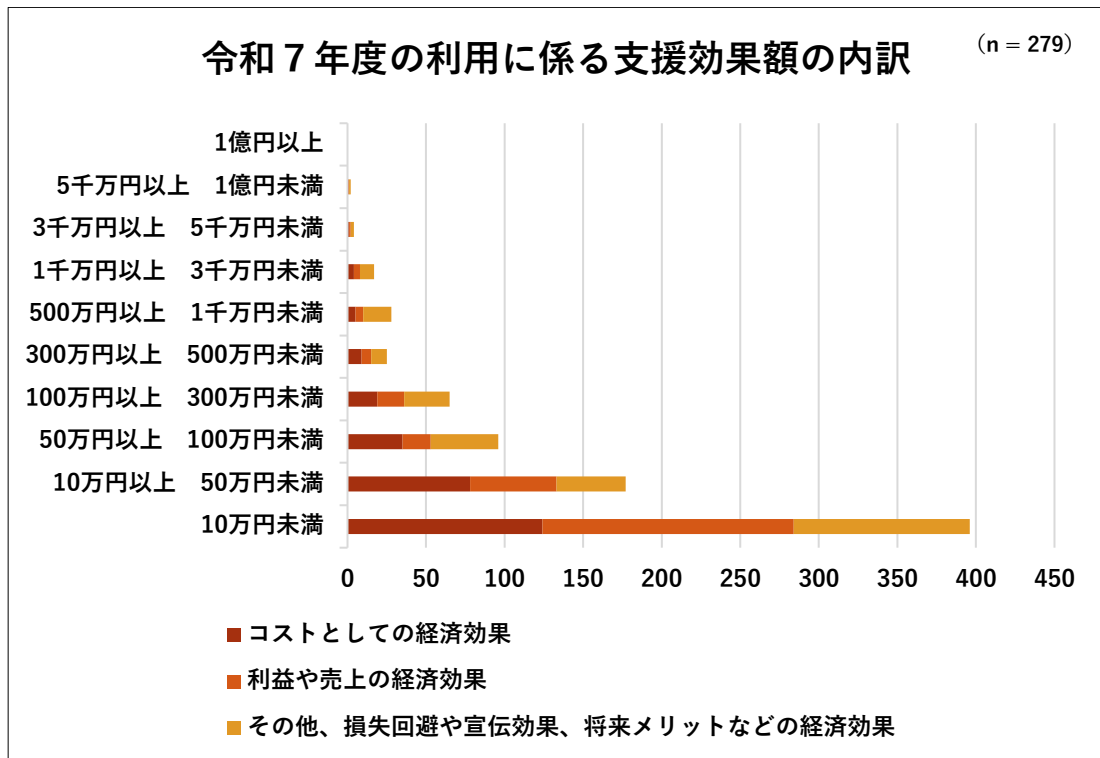
(7) 満足した理由

「対応が丁寧」、「目的の知見が得られた」等の割合が多い。



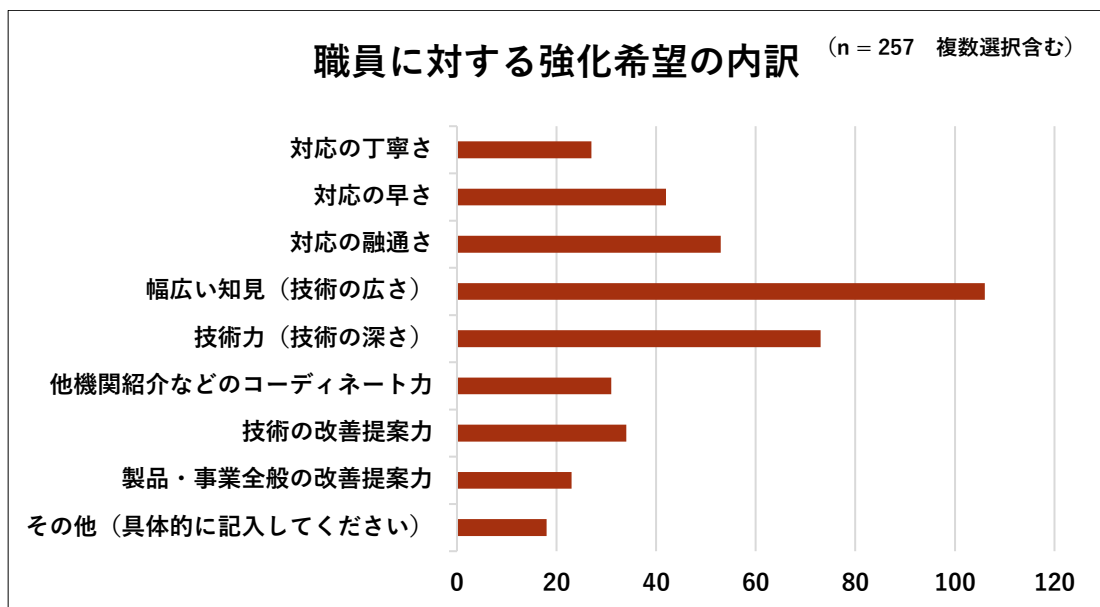
(8) 支援効果額

1 者あたりの支援効果額は、約 4,394 千円/者である。



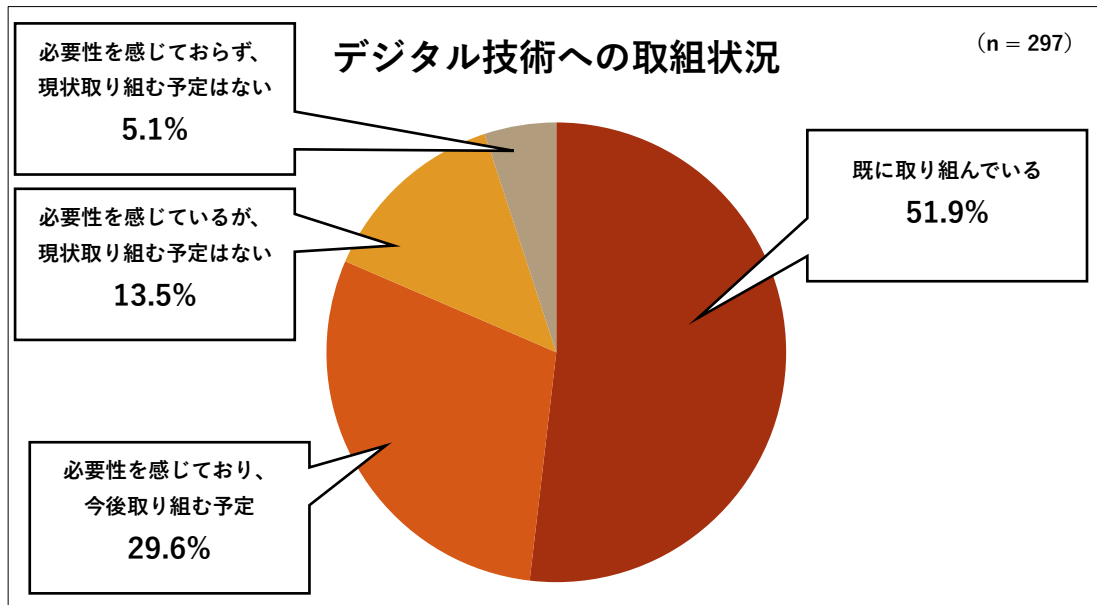
(9) 職員への強化希望

総研職員に対しては、「幅広い知見（技術の広さ）」や「技術力（技術の深さ）」が求められている。



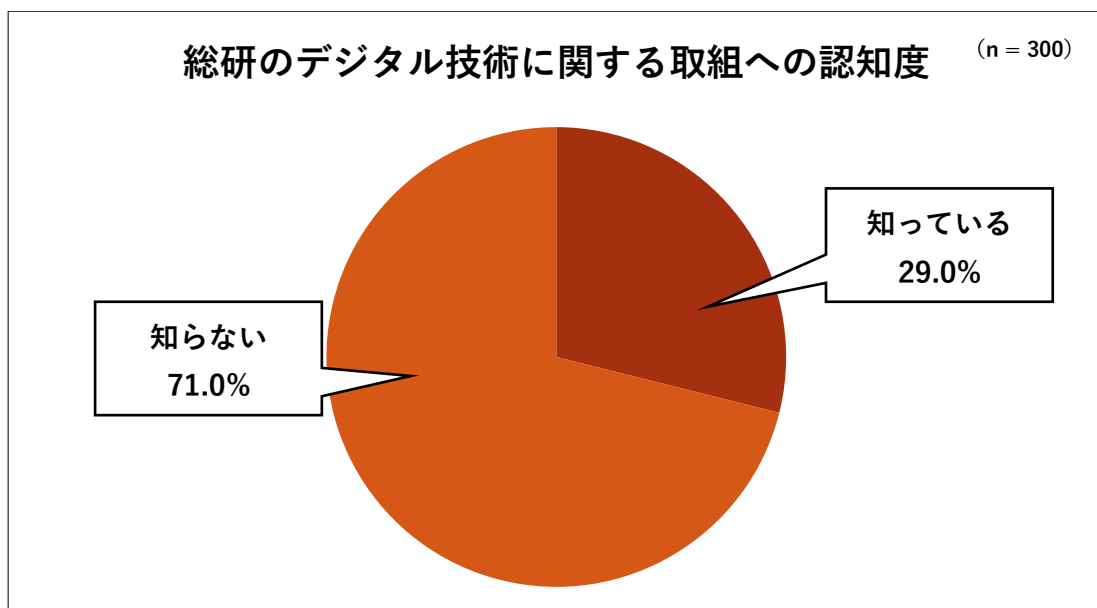
(10) デジタル技術への取組状況

アンケート回答者のデジタル技術への取組状況は、約 81.5%が「既に取り組んでいる」又は「今後取り組む予定」と回答した一方で、約 18.5%が「現状取り組む予定はない」と回答している。



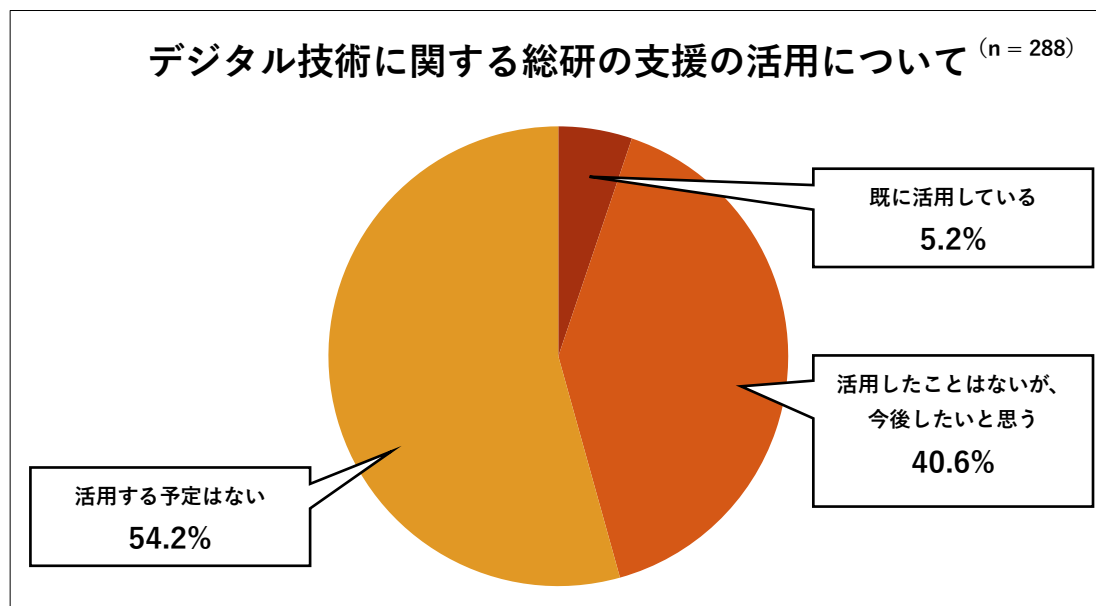
(11) 総研がデジタル技術に関する取組への認知度

総研がデジタル技術の活用に資する研究開発・支援を行っていることについて、約 29.0%が「知っている」と回答した。



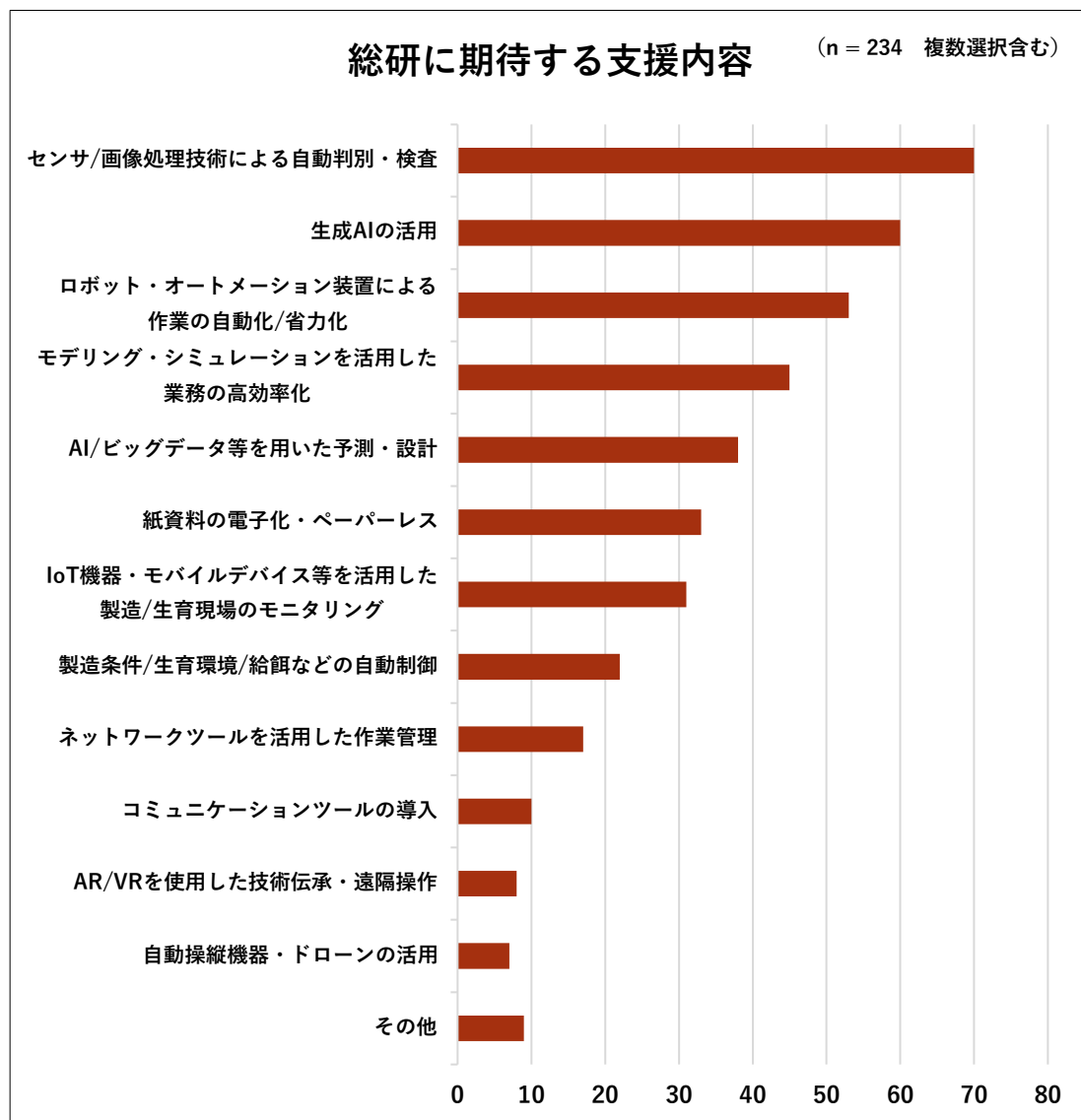
(12) デジタル技術に関する総研の支援の活用について

デジタル技術活用に当たって、総研による支援を活用したいかについては、約45.8%が「活用したことがある」又は「今後活用したい」と回答している。



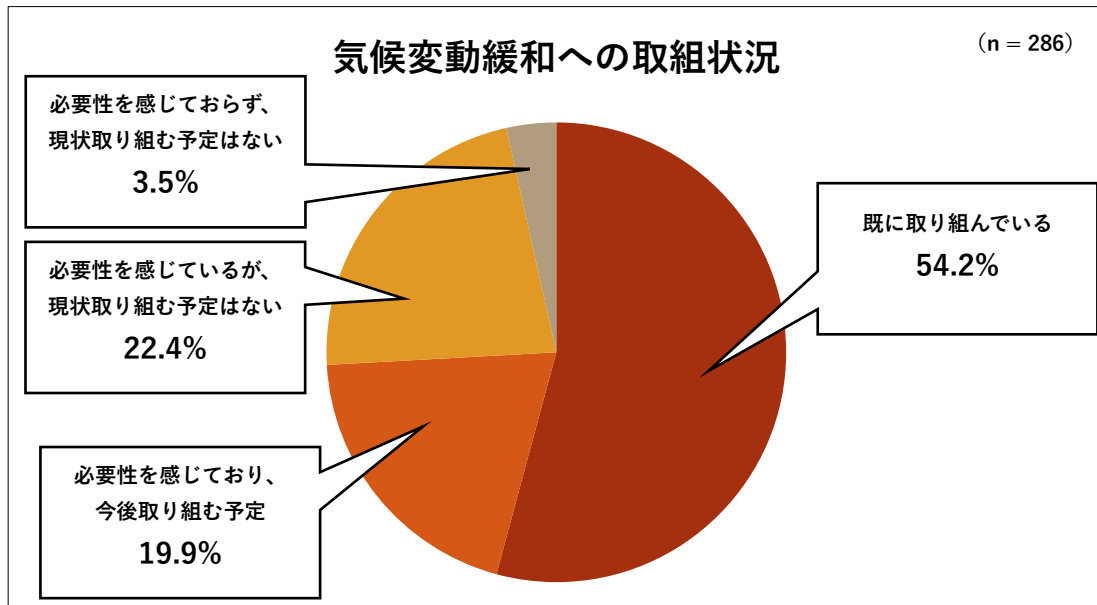
(13) デジタル技術に関して、総研に期待する支援内容

「センサ／画像処理技術による自動判別・検査」を始め、様々な分野で支援を期待されている。



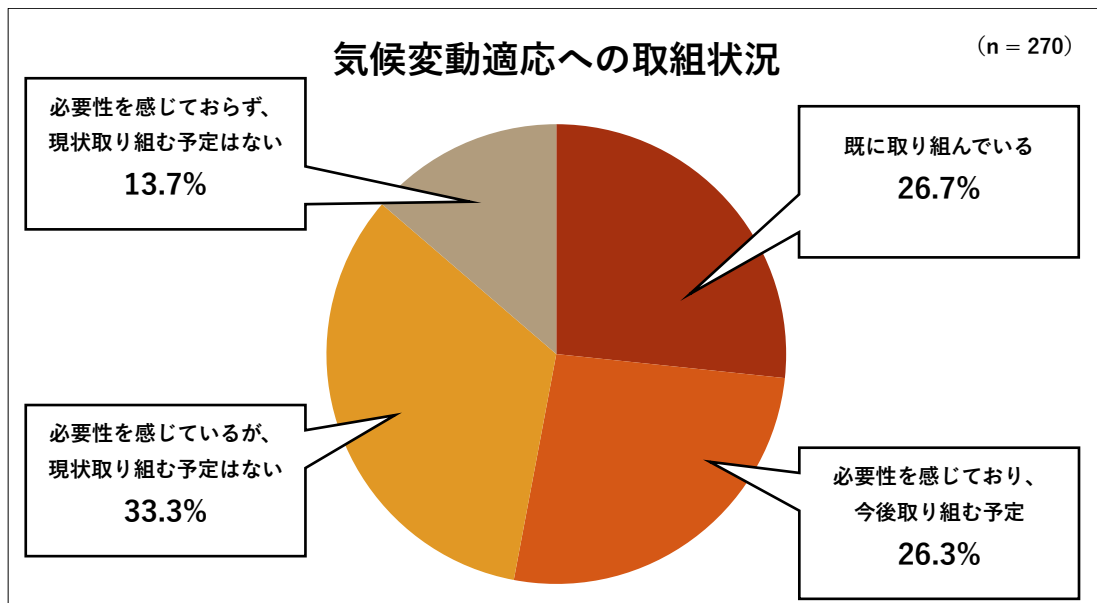
(14) 気候変動緩和への取組状況

アンケート回答者の気候変動緩和への取組状況は、約 74.1%が「既に取り組んでいる」又は「今後取り組む予定」と回答した一方で、約 25.9%が「現状取り組む予定はない」と回答している。



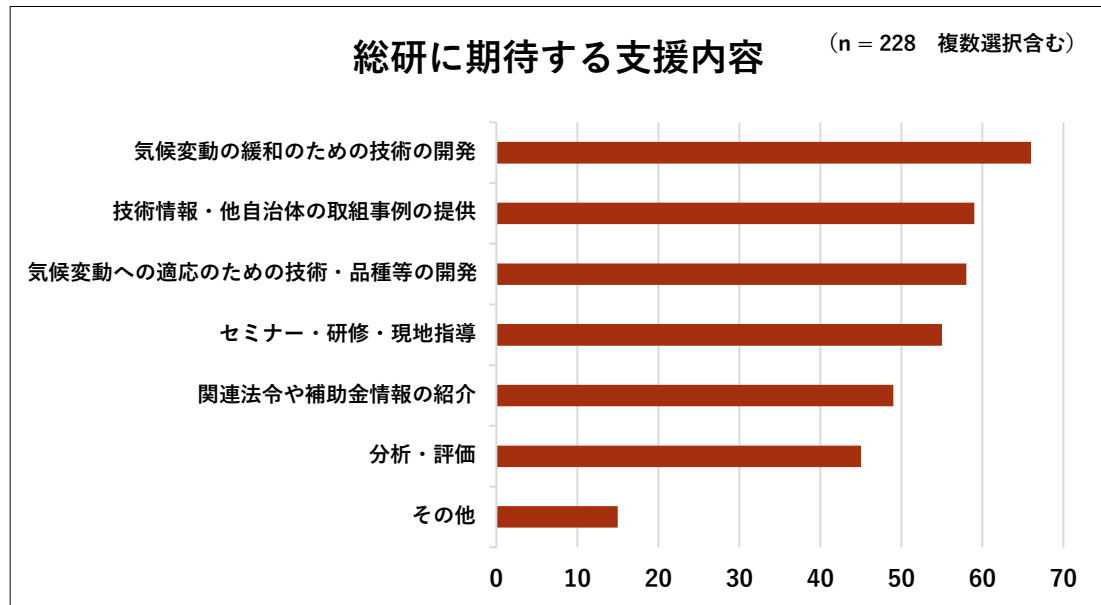
(15) 気候変動適応への取組状況

アンケート回答者の気候変動適応への取組状況は、約 53.0%が「既に取り組んでいる」又は「今後取り組む予定」と回答した一方で、約 47.0%が「現状取り組む予定はない」と回答している。



(16) 気候変動緩和・適応に関して、総研に期待する支援内容

「気候変動の緩和のための技術の開発」や「技術情報・他自治体の取組事例の提供」を始め、様々な支援を期待されている。



(17) その他意見 ※対応してほしい点、改善してほしい点、良かった点等

ア 改善等の要望（抜粋）

【お支払い関係】

- 技術的な点ではありませんが、金額を納入できる方法を増やして頂けると嬉しいです。
- 支払いをコンビニエンスストアで可能として欲しいです。銀行窓口に行く必要があり時間のムダを感じます。
 - 設備利用、依頼試験については、「広島県電子申請システム」でオンライン申請いただくと、手数料等をネットバンキング・コンビニ決済等でお支払いいただけます。詳しくは、[総合技術研究所ホームページ](#)をご覧ください。
- 納入通知書による支払いも通常の支払い方法として欲しい。
 - 支払い方法として、納入通知書もご利用いただけます。

【設備関係】

- 生産技術アカデミーの SEM 機器の修理復旧または取替えをお願い致します。
 - ご利用事業者様からのニーズ等に基づき、優先度が高いと考えられる機器から順次更新してまいります。

SEM については、現状、西部工業技術センター（本所）、東部工業技術セン

ター、広島市工業技術センター及びひろしま産学共同研究拠点の設備をご案内しております。

【広報関係】

- もっと地元企業へアピールをしていただきたい。また東工技だけで対応できない事は過去、西工技や産総研にもつないでいただいた事がある。こういうコーディネート力も魅力なので、PRをしていただきたい。
- これまで、企業訪問による営業活動や、研究成果発表会・セミナーによる情報発信等を行ってきましたが、総合技術研究所・センターの存在をさらに広く知っていただくため、より広報に力を入れてまいります。

イ 良かった点（抜粋）

- 私共のような小さな会社にとっては、センター様での設備、測定、アドバイスなどが非常に重要で、いつもお世話になっております。今後も末永く利用させていただきたく思います。
- 機器利用させていただきありがとうございました。定期的をお願いすることになると思いますのでよろしくお願いいたします。
- 研究に必要な設備がほぼそろっており、十分満足しています。

R8 年度 広島県立総合技術研究所 ご利用アンケート調査（R7 年度利用分）

令和 7 年度の総研ご利用分について回答してください。
県の HP 上で、便利に回答することができます（右二次元コード先）。
又は「総合技術研究所 ご利用アンケート調査」で検索。
利用者が複数名おられる場合は、利用者ごとに回答ください。
（FAX の場合、お手数ですが、コピーしてお使いください）



Q1 貴社名（個人の場合は貴名）を記入してください（必須）

例）〇〇株式会社〇〇事業所

Q2 業種を選択してください。（必須、1 つ選択）

※日本標準産業分類の区分を表記しています。

- ☐ 農業 ☐ 林業 ☐ 漁業 ☐ 鉱業、採石業、砂利採取業 ☐ 建設業 ☐ 食料品製造業
☐ 飲料・たばこ・飼料製造業 ☐ 繊維工業 ☐ 木材・木製品製造業（家具を除く）
☐ 家具・装備品製造業 ☐ パルプ・紙・紙加工品製造業 ☐ 印刷・同関連業 ☐ 化学工業
☐ 石油製品・石炭製品製造業 ☐ プラスチック製品製造業 ☐ ゴム製品製造業
☐ なめし革・同製品・毛皮製造業 ☐ 窯業・土石製品製造業 ☐ 鉄鋼業 ☐ 非鉄金属製造業
☐ 金属製品製造業 ☐ はん用機械器具製造業 ☐ 生産用機械器具製造業 ☐ 業務用機械器具製造業
☐ 電子部品・デバイス・電子回路製造業 ☐ 電気機械器具製造業 ☐ 情報通信機械器具製造業
☐ 輸送用機械器具製造業 ☐ その他の製造業 ☐ 電気・ガス・熱供給・水道業
☐ 情報通信業 ☐ 運輸業、郵便業 ☐ 卸売業、小売業 ☐ 金融業、保険業
☐ 不動産業、物品賃貸業 ☐ 学術研究、専門・技術サービス業 ☐ 宿泊業、飲食サービス業
☐ 生活関連サービス業、娯楽業 ☐ 教育、学習支援業 ☐ 医療、福祉 ☐ 複合サービス事業
☐ サービス業（他に分類されないもの） ☐ 公務（他に分類されるものを除く） ☐ 分類不能の産業

Q3 昨年度ご利用のセンターを選択してください。（必須、複数選択可）

- ☐ 保健環境センター ☐ 食品工業技術センター ☐ 西部工業技術センター（生産技術アカデミー含みます）
☐ 西部工業技術センター生産技術アカデミー ☐ 東部工業技術センター ☐ 農業技術センター
☐ 畜産技術センター ☐ 水産海洋技術センター ☐ 林業技術センター ☐ 総合技術研究所企画部

Q4 昨年度ご利用の支援メニューを選択してください。（必須、複数選択可）

- ☐ 設備利用（センターの保有機器・設備） ☐ 依頼試験 ☐ 技術的課題解決支援事業（ギカジ）
☐ 共同研究 ☐ 受託研究 ☐ 人材育成（研究員受入、研修）

Q5 ご利用のきっかけを選択してください。（複数選択可）

- ☐ 前回利用 ☐ インターネット上での検索 ☐ センターでの技術相談
☐ 自治体・支援機関の紹介 ☐ 地域企業等からの口コミ・紹介 ☐ 公的機関での試験結果が必要だから
☐ その他

Q6 ご利用の理由を選択してください。(複数選択可)

- ☐ 必要な設備・機器があるため ☐ 利用したい技術があるため ☐ 研究員の知見が必要なため
☐ センターが近くにあるため ☐ 信頼性が高いため ☐ その他

Q7 センターの支援メニューをご利用の結果、満足度を選択してください。(必須、1つ選択)

- ☐ 大いに満足 ☐ 満足 ☐ 普通(想定どおり) ☐ 不満 ☐ 大いに不満

Q8 Q7で満足(不満足)とした理由を選択してください。(最大2つ選択)

- ☐ 対応が丁寧(不十分) ☐ 対応が早かった(遅かった) ☐ 金額が安い(高い)
☐ 目的の知見が得られた(得られなかった) ☐ 目的以外の知見を得た(得られなかった)
☐ 手続きが簡単(煩雑) ☐ 結果が期待以上(期待未満) ☐ その他

Q9 支援メニューを申請してからレポートや測定が終わるまでに要した時間を選択してください。

(複数選択可)

- ☐ 1～3時間 ☐ 1日 ☐ 2～3日
☐ 1週間程度 ☐ 2～3週間 ☐ 数か月程度
☐ 半年 ☐ 1年 ☐ 1年以上

Q10 昨年度、総研を利用したことによる貴社(貴殿)の経済効果についてお答えください。

コスト削減としての貢献額を選択してください(1つ選択)

- 例1) 装置使用や依頼試験により、自社で試験を実施する場合に比べて、設備投資費や人件費を〇〇〇万円削減できた。
例2) 民間の専門分析機関や研究機関へ対応相談や試験依頼をした場合と比べ、〇〇万円の経費削減につながった。
例3) 技術的な知見を習得することができ、自社の人材育成に関する経費を〇〇万円圧縮できた。

- ☐ 10万円未満 ☐ 10万円以上 50万円未満 ☐ 50万円以上 100万円未満
☐ 100万円以上 300万円未満 ☐ 300万円以上 500万円未満 ☐ 500万円以上 1千万円未満
☐ 1千万円以上 3千万円未満 ☐ 3千万円以上 5千万円未満 ☐ 5千万円以上 1億円未満
☐ 1億円以上 (Q11にもご回答ください)

Q11 Q10で「1億円以上」を選択した場合、およその金額を記入してください。(数値入力:単位 億円)

億円

Q12 利益や売上の増加について、貢献額を選択してください。(1つ選択)

- 例1) 品質の維持・向上のための課題解決により、売上高が〇〇万円向上した。
例2) 依頼試験や、委託研究により製品開発に貢献し、〇〇万円の売上高に貢献した。

- ☐ 10万円未満 ☐ 10万円以上 50万円未満 ☐ 50万円以上 100万円未満
☐ 100万円以上 300万円未満 ☐ 300万円以上 500万円未満 ☐ 500万円以上 1千万円未満
☐ 1千万円以上 3千万円未満 ☐ 3千万円以上 5千万円未満 ☐ 5千万円以上 1億円未満
☐ 1億円以上 (Q13にもご回答ください)

Q13 Q12で「1億円以上」を選択した場合、およその金額を記入してください。(数値入力:単位 億円)

億円

Q14 その他、損失回避や宣伝効果、将来メリットなどの貢献額を選択してください(1つ選択)

例1) 不具合などの原因究明に対応でき、将来的な損失を〇〇万円回避できた。

例2) 製品の評価や品質管理の結果、試験結果を宣伝できたため、〇〇万円の貢献があった。

例3) 研究開発・製品化・事業実施の判断に役立てることができ、研究開発費として〇〇万円の価値がある。

☐10万円未満 ☐10万円以上 50万円未満 ☐50万円以上 100万円未満

☐100万円以上 300万円未満 ☐300万円以上 500万円未満 ☐500万円以上 1千万円未満

☐1千万円以上 3千万円未満 ☐3千万円以上 5千万円未満 ☐5千万円以上 1億円未満

☐1億円以上(Q15にもご回答ください)

Q15 Q14で「1億円以上」を選択した場合、およその金額を記入してください。(数値入力:単位 億円)

億円

Q16 総研の職員に対して、特に強化してほしい部分を選択してください。(最大2つ選択)

☐対応の丁寧さ

☐対応の早さ

☐対応の融通さ

☐幅広い知見(技術の広さ)

☐技術力(技術の深さ)

☐他機関紹介などのコーディネート力

☐技術の改善提案力

☐製品・事業全般の改善提案力

☐その他

Q17 今後のご利用に当たり、強化してほしい技術分野、支援メニュー等があれば記入してください。

(自由記入)

※〇〇の分析技術、〇〇分野におけるデジタル技術、〇〇設備の導入 など

Q18~Q22 ではデジタル化・DX に関してお聞きします。

Q18 貴社(貴殿)の事業における、デジタル技術への取り組み状況について選択してください。(1つ選択)

☐既に取り組んでいる

☐必要性を感じており、今後取り組む予定

☐必要性を感じているが、現状取り組む予定はない ☐必要性を感じておらず、現状取り組む予定はない

Q19 総研がデジタル技術の活用に資する研究開発・支援を行っていることをご存じですか。(1つ選択)

☐知っている ☐知らない

Q20 貴社(貴殿)の事業におけるデジタル技術活用に対して、総研による支援を活用したいと思いますか。

(1つ選択)

☐既に活用したことがある ☐活用したことはないが、今後したいと思う ☐活用する予定はない

Q21 デジタル技術の活用に関して、総研で取り組んでほしい、共同で取り組みたい等、総研に期待する支援内容を選択してください。（複数選択可）

- ☐IoT 機器・モバイルデバイス等を活用した製造/生育現場のモニタリング
☐モデリング・シミュレーションを活用した業務の効率化 ☐製造条件/生育環境/給餌などの自動制御
☐ロボット・オートメーション装置による作業の自動化/省力化
☐センサ/画像処理技術による自動判別・検査 ☐生成 AI の活用 ☐AI/ビッグデータ等を用いた予測・設計
☐自動操縦機器・ドローンの活用 ☐ネットワークツールを活用した作業管理 ☐コミュニケーションツールの導入 ☐AR/VR を使用した技術伝承・遠隔操作 ☐紙資料の電子化・ペーパーレス
☐その他（Q22 に具体例をご記入ください。）

Q22 Q21 の選択内容（その他を含む）について具体的にご記入ください。（自由記入）

※〇〇を省力化する××技術システムの開発、〇〇技術に関する研修・技術指導 など

Q23～Q28 では気候変動についてお聞きます。

※気候変動の緩和・・・CO2 排出量の低減など、地球温暖化を抑止するための取組

※気候変動への適応・・・夏季の暑熱や短時間強雨などの悪影響を低減する、反対に好影響として利用するための取組

Q23 貴社（貴殿）の事業における、気候変動の緩和の取組状況を選択してください。（1 つ選択）

- 例）省エネ設備の導入、再生可能エネルギーの導入、製品の環境負荷低減・循環型設計
☐既に取り組んでいる ☐必要性を感じており、今後取り組む予定
☐必要性を感じているが、現状取り組む予定はない ☐必要性を感じておらず、現状取り組む予定はない

Q24 Q23 で「取り組んでいる」又は「取り組む予定」と回答した場合は取組内容を、「取り組む予定はない」と回答した場合は、その理由をご記入ください。（自由記入）

Q25 貴社（貴殿）の事業における、気候変動への適応の取組状況を選択してください。（1 つ選択）

- 例）気候変動に強い品種の導入、スマート農業の推進、土壌・水資源管理の改善
☐既に取り組んでいる ☐必要性を感じており、今後取り組む予定
☐必要性を感じているが、現状取り組む予定はない ☐必要性を感じておらず、現状取り組む予定はない

Q26 Q25 で「取り組んでいる」又は「取り組む予定」と回答した場合は取組内容を、「取り組む予定はない」と回答した場合は、その理由をご記入ください。（自由記入）

Q27 気候変動の緩和・適応への取組に関して、総研に期待する支援を選択してください。（複数選択可）

- ☐ 気候変動の緩和のための技術の開発 ☐ 気候変動への適応のための技術・品種等の開発
☐ 技術情報・他自治体の取組事例の提供 ☐ 関連法令や補助金情報の紹介
☐ セミナー・研修・現地指導 ☐ 分析・評価 ☐ その他

Q28 Q27 について具体的にご記入ください。（自由記入）

※省エネ製品開発への技術支援、気温上昇に強い品種の選定 など

Q29 センターへ、その他ご意見があればご記入ください。（自由記入）

※対応してほしい点、改善してほしい点、利用してよかった点など

Q30 回答者のご所属、お名前をご記入ください。（必須）

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。集計結果は夏ごろホームページにて公開する予定です。

総研では引き続き事業者の皆様の支援を行っております。お気軽に各センター又は企画部までお問い合わせください。